資料４－②
平成２８年度第１回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

事業評価監視委員会審議資料

【再評価事業】

〇一般国道５０６号　豊見城東道路

沖縄総合事務局開発建設部

事業評価監視委員会審議資料

道路事業（再評価）
一般国道506号
豊見城東道路

平成28年11月25日

沖縄総合事務局
南部国道事務所

豊見城東道路の事業概要

(1)事業目的

那覇空港自動車道は、那覇空港と沖縄自動車道を連結し、本島中南部･北部の各拠点の産業、観光及び地域振興プロジェクトに寄与する那覇市から西原町に至る約20kmの高規格幹線道路である。

豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一部を形成し那覇空港へのアクセス性向上に資するとともに、那覇都市圏の交通渋滞の緩和を目的に計画された2環状7放射道路として、地域の産業、観光及び地域振興プロジェクト支援を目的とした道路で、豊見城市名嘉地から南風原町山川に至る延長6．2kmの高規格幹線道路である。

① 那覇空港と沖縄自動車道を連結し、各拠点の地域振興支援
② 交通事故抑制、観光支援および物流効率化
③ 那覇都市圏の交通渋滞の緩和

【2環状7放射道路】
外郭環状道路として、都市部の交通渋滞緩和に寄与

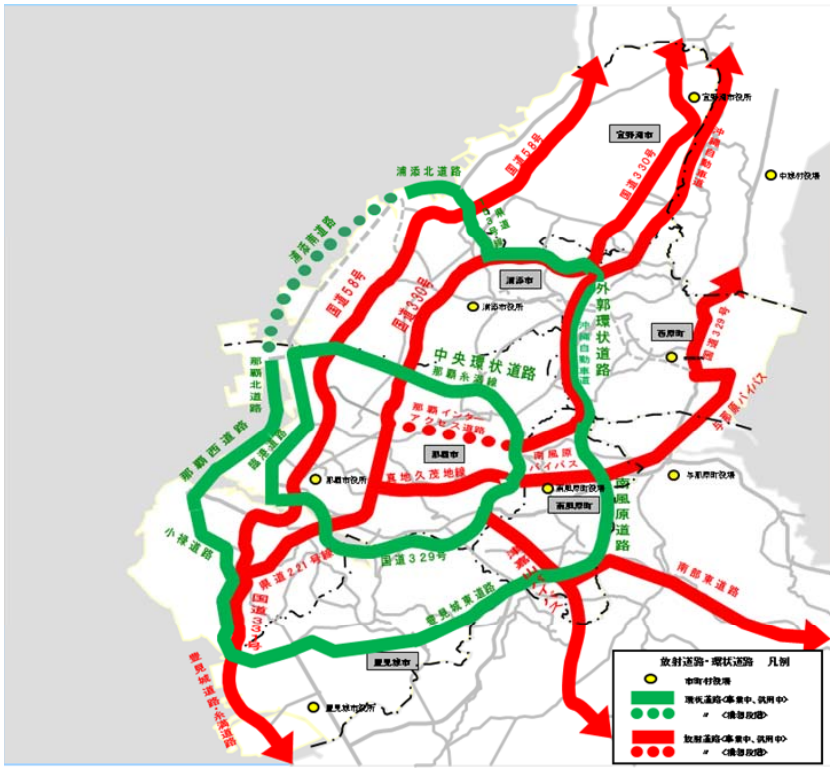


図1 2環状7放射道路イメージ

(2)計画概要

＜計画概要＞
●事業名　：豊見城東道路
●起終点　：(起点)豊見城市名嘉地
　　(終点)南風原町山川
●延長：　6.2km
●道路規格：　第1種第3級
●設計速度：　80km/h
●車線数　：　4車線

＜主な事業の経緯＞

平成2年度	都市計画決定
平成3年度	事業化
平成5年度	用地着手
平成9年度	工事着手
平成15年度	南風原南IC～豊見城IC(L=3.5km)暫定開通
平成19年度	全線暫定開通(L=6.2km)
平成22年度	豊見城･名嘉地ICロングランプ開通
平成25年度	南風原南IC～豊見城IC(L=3.5km)完成開通
平成26年度	全線4車線開通(L=6.2km)

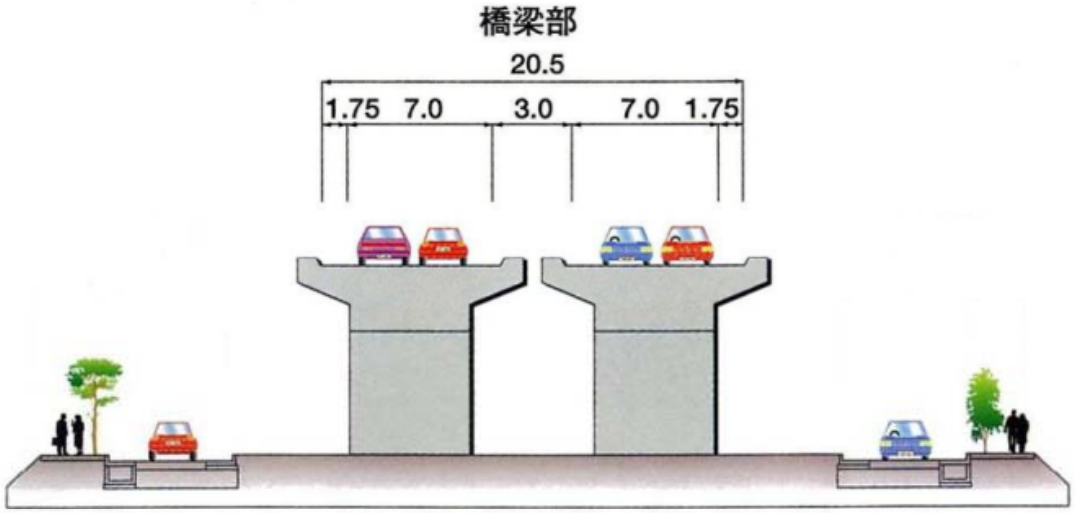
＜費用＞
●全体事業費：1,230億円(H25再評価時1,230億円)
●残事業費　：76億円(H25再評価時82億円)

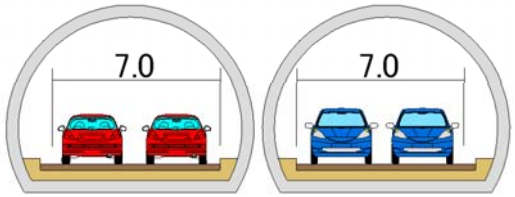
＜費用便益比＞
●事業全体：1.5　(H25再評価時)
●残事業　：4.3　(H25再評価時)

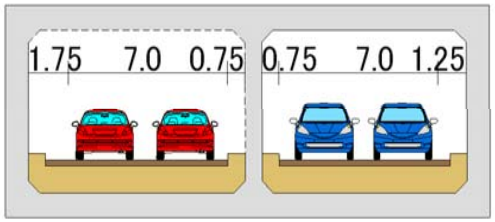
＜事業進捗の見込み＞

	H25再評価時 (H24年度末時点)	今回評価時 (H27年度末時点)
用地買収の進捗率	99%	99%
事業費の進捗率	93%	94%

豊見城東道路の標準断面図







(3)事業の進捗状況等

1)事業の進捗状況

平成28年度事業内容

・事業中区間の調査設計を推進します。

進捗の状況

・平成27年度末までの用地進捗率は99%、事業進捗率は94%です。

事業進捗上の課題

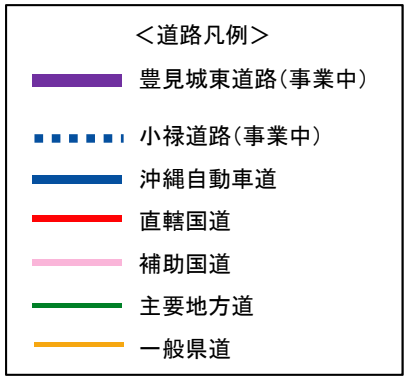
・全地区において大きな課題はありません。

2)今後の事業スケジュール等

・小禄道路の整備と併せて、完成に向けて残事業区間の整備を進めていきます。

写真1：豊見城・名嘉地ICロングランプを望む

全体位置図



区　　間	豊見城・名嘉地IC - 豊見城IC(2.7km)	豊見城IC - 南風原南IC(3.5km)
用　　地	用地進捗率99%	用地進捗率100%
工　　事	事業中 (一部を除き供用済)	完成供用

(4)まとめ

1. 事業の必要性

○豊見城市、南風原町をはじめ、沖縄県の人口は今後しばらく増加傾向が続く。⇒県内各拠点の地域振興支援
○沖縄県の観光入込客数は増加傾向。⇒観光支援
○那覇空港及び那覇港の貨物取扱量は増加傾向。⇒物流効率化
○那覇空港自動車道の交通量は年々増加し、交通容量を超過、主要渋滞箇所に指定。⇒交通渋滞の緩和

2. 事業の整備効果・投資効果

○円滑なモビリティの確保
　⇒国道329号等の損失時間が約47%減少
　　【239万人時間/年→126万人時間/年 】
○全線4車線供用の効果
　⇒全線4車線供用により、環状道路機能が強化され、那覇都市圏の交通分散効果が向上。
○安全で安心できるくらしの確保
　⇒救急搬送活動の改善：豊崎タウン～南部医療センターまでの所要時間が約44%短縮【43分→24分】
○地球環境の保全
　⇒CO2排出量の削減：6,000t-CO2/年削減
　　【187.4万t-CO2/年→186.8万t-CO2/年】
○費用便益（B／C） ＝ 事業全体1.5、残事業4.3

3. 事業の進捗と状況

○用地進捗率
　豊見城東道路：約99%（H25再評価時99%）
○事業進捗率
　豊見城東道路：約94%（H25再評価時93%）
○事業完了に向けて他事業との整備状況と調整しつつ、鋭意事業の進捗を図る。

○対応方針（原案）： **事業継続**